



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高梨哲男
幹事 高橋智弘
奉仕プロジェクト委員会委員長 渡辺敬藏
会報写真担当 梅津一匡

令和5年3月6日(月) 第24回 通算第1652回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第24回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高梨哲男会長
- ◇ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 佐藤卓立会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 宮崎秀剛委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介



東邦銀行
栗山祐大様

3月誕生祝い

※今年度の誕生祝記念品はワインです。



・渡辺敬藏会員
昭和21年3月14日生
・寺島英樹会員
昭和40年3月22日生

◇会長あいさつ 高梨哲男会長
付焼刃でのたまたま私の虚言も、8ヶ月が過ぎもう少しで終わりですが、本日3月6日は二十四節気の一つ、太陽の黄経が345度の時である啓蟄です。冬ごもりの虫が這い出る意味で、日々の寒さや抑圧や屈折、コロナに苛まれた時期からそろそろ這い上がる季節となりました。

先日、IMが二本松市で開催されました。久米さん、高橋幹事さんお付き合いいただきご苦労様でした。

内容はいつもと変わらず、釈迦に説法のごとく、RCのクオリティーを肴に畏敬の念など微塵も感じられず、Gは各分区行事は例会の振替はず、必ず毎週開催するようにとのこと、公式訪問時はこの状況下での例会開催は控えるようにと、夜間や移動は必要ないと朝令暮改で語っておりました。まるで一貫性がなく、困惑と違和感を覚えました。また、同じことを言いますが、退会防止や会員増強、寄附金数値目標などが常に叫ばれるだけで、目標や目的が不透明なまま、終止しています。

至高のクオリティーなど感じる必要はないのですが、できれば考えの中で、技術的な理論だけ満たせば、こ

の集団の中で今後の行事や疲弊感を求め、結果が全てと割り切ればなんとかなるのでは。

○その他のお知らせ

- ・本日、例会終了後に3月理事会を開催いたします。理事役員の皆様はよろしくお願ひいたします。
- ・3月4日(土)に2023-24年度会長エレクトセミナーが開催されました。当クラブより渡辺敬藏会員が出席いたしました。
- ・地区戦略委員会より11月に実施しましたアンケート調査報告書が届いております。地区HPよりダウンロードし閲覧する形になりますが、例会場に1冊印刷したものを置いておきますので是非ご覧ください。
- ・3月ロータリーレートは1ドル136円となっておりますのでお知らせいたします。
- ・2007-08年度ガバナー(船引RC所属)牧公介様が2月20日にご逝去されました。葬儀につきましては近親者での密葬にて執り行われ、4月16日「お別れの会」が執り行われる予定です。
- ・1997-98年度ガバナー(いわき平中央RC所属)鈴木喬二様が2月23日にご逝去されました。通夜3月11日、告別式3月12日より執り行われます。故人のご冥福を心よりお祈りし謹んでお知らせいたします。

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡辺敬藏会員
 - 石川淳一会員=本日SDGsの取り組みについてお話をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
 - 梅津一匡会員=家から3分で着きました。なんだか得した気分です。
 - 宮崎秀剛会員=本日もよろしくお願ひします。
- ゲストスピーチによせて—————
- 高梨哲男会長 ○朝倉久仁男会員 ○大内裕子会員
 - 大平謹一郎会員 ○久米允彦会員 ○齋藤武二会員
 - 佐藤卓立会員 ○佐藤宗弘会員 ○高橋智弘幹事
 - 寺島英樹会員 ○西形健吉会員 ○野尻榮一会員
 - 渡辺敬藏会員

本日のスマイリングBOX集計16件 32,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 梅津一匡会員
- ◇「友」3月号紹介
- ◇本日のプログラム
- ゲストスピーチ「SDGs」取り組みについて
東邦銀行 栗山祐大様

「SDGs・脱炭素経営に取組むポイント」

【SDGs（持続可能な開発目標）】

SDGs（エスディーゼイズ）とは「Sustainable Development Goals」
●2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（2016年から2030年）

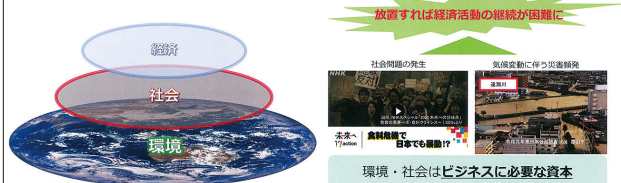
SDGsのポイント

- ①持続可能な開発目標
「将来の世代と現在の世代の欲求を満足させる開発」
⇒私たちの子どもや孫などの将来世代が、安心して住み続けられる世界を作るために、今現在、私たちが取り組むべき開発目標
②共通理念（スローガン）
「誰一人取り残さない（no one will be left behind）」
③目標「17のゴール」より具体的な目標「169項目のターゲット」
④対象者「全世界（先進国も途上国も）」
世界中のすべての国や企業、人々が関わって解決していく目標で、無縁な人は地球上に誰一人いない



【SDGsが採択された背景】

- 人間の経済活動は安定した地球環境と社会基盤のうえに成り立っている。
●近年、経済発展とともに、環境汚染や気候変動に伴う自然災害の頻発、人権を無視した労働問題や格差の発生など、数々の環境・社会問題が発生。
●これらの問題をクリアし、「将来世代のニーズを損なわずに、現在世代も満足させる経済成長」を実現すべく、SDGsが採択。



経済成長の大前提は、環境・社会が持続可能な状態であること！

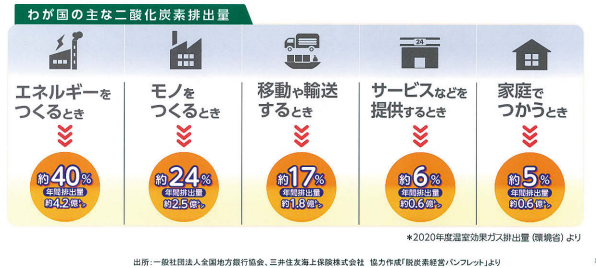
【地球温暖化の影響】

地球温暖化の進むとこんな社会に



【温室効果ガスが排出される状況】

温室効果ガスは、あらゆる場面で排出されています。その約90%を二酸化炭素が占めており、メタンと一酸化二窒素がそれぞれ約2%を占めています。



【企業を取り巻く環境の変化】

教育分野

- 2020年度から本格実施されている「新学習指導要領」において、SDGsが盛り込まれる。
●「持続可能な社会の創り手の育成」が明記され、小・中・高でSDGs教育がスタート。

中学校の入試問題

- 飢餓と貧困をなくすことを使命とする国連の世界食糧計画(WFP)によると、世界では9人に1人が飢餓に苦しんでいます。また、5歳未満で亡くなる子どものうち、約半数は栄養不良が関係しています。もしあなたが国連の食糧問題の担当者だとしたら、日本の中学生に対してどのような活動をしますか。50字以内で書きなさい。
大宮開成中学校（2019年）
●さいたま市は2019年に「〜誰もが生きていることを誇りに思える都市へ〜」をスローガンにして、「SDGs未来都市」に選定されました。あなたが住んでいる都市が「誇りに思える都市」になるために、あなたはどんなことができますか。SDGsの17個の目標から一つ選び、その目標に対して、「誇りに思える都市」になるために、あなたができることをわかりやすく説明しなさい。
開智中学校（2020年）

【企業を取り巻く環境の変化】

消費分野

- 消費者意識の変化（「倫理的消費（エシカル消費）」「グリーン購入」）。
●2020年2月消費者庁「倫理的消費に関する消費者意識調査」の回答
「倫理的消費」を意識した購入経験あり39.7%(+6.7%)、購入意向あり81.2%(+19.4%)
※対2016年度比
エシカル消費…消費者それぞれが各自の社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。
SDGs教育との相乗効果により、消費活動にも変化が発生
ふくしまSDGsプロジェクト「みんなのSDGs宣言」より
「みんなのSDGs宣言」宣言内容より抜粋（2022.5.31福島民報・全面広告より）
●ごみがあまり出ないものを買う。また、ごみが出たらごみ箱に捨てる。（郡山市・10代女性）
●節水や節電をして環境について考える。（いわき市・小学生女子）
●商品を選ぶとき、環境にやさしいものかフェアトレード等の商品なのかを考えて買う。（いわき市・小学生女子）
●ごみを分別する。電気をこまめに消す。書き損じハガキなどで寄付する。（いわき市・小学生男子）

【企業を取り巻く環境の変化】

サプライチェーン

- 大手企業のサプライチェーンにおけるSDGs/ESGに対する取組みが拡大。
例) トヨタ自動車によるゼロカーボンに向けた動き
⇒主要部品メーカーに対し前年比3%のCO2排出量削減要請
⇒2035年までに自社工場からのCO2排出量を実質ゼロに
例) 東芝グループによる持続可能な調達活動の推進
⇒各種法令遵守・人権配慮を調達取引にかかる優先条件とし、公正な取引による調達を推進するとともに、定期的なモニタリングを実施
⇒環境負荷の小さい部品等を優先的に調達（グリーン調達）
取引条件の厳格化、サプライチェーン見直しのリスク
県内企業でお聞きした実際の声
●大手の取引先からSDGsへの取組みについて説明を求められた（県内鉱物資源業）
●取引先の手動車メーカーや家電メーカーから、後継者問題への取組み、環境問題への取組みなどをヒアリングされた（県内製造業）
●取引先の手動車メーカーからCO2排出量の削減に向けた取組みを問われている（県内木材加工業）
●アンダートという形でヒアリングされている例は多数。

【従業員の意識を統一】

- SDGs・脱炭素経営を進めていくためには、経営層だけではなく、全従業員の意識を統一することが大事。
SDGs・脱炭素経営に取組むポイント
1 SDGs・脱炭素を理解する
社内総会等を通じて、社長・社員全員がSDGs・脱炭素を同じ目標で理解しましょう。SDGs・脱炭素の達成に取り組むことが、市場開拓・ブランド力の強化・法的リスクの軽減等につながることを確認します。
2 SDGsを皆で考える社内風土、体制を作る。/気候変動による影響を整理する。
社員から意見やアイデアが出てくる社内風土やプロジェクトチームを作る。/気候変動によるリスクと機会を整理する。
3 優先課題を特定しましょう。/CO2の排出量を測定しましょう。
社内の強みや課題を洗い出し、優先すべき取組みを特定しましょう。/CO2の排出量を見える化しましょう。
4 目標を設定しましょう。/削減目標・計画を策定しましょう。
社内のニーズに対して自社が何をすべきかという観点から目標（将来の会社の姿）を設定しましょう。/削減目標を策定しましょう。
5 実践しましょう。
目標に到達するための道筋を考え、実践しましょう。自社で解決できない課題があれば、外部の知恵を活用しましょう。
6 取組内容を開示しましょう。
取組内容を社外に積極的にアピールし、自社の理念に共感する顧客を開拓しましょう。



◇閉会点鐘

高梨哲男会長

※会報カメラ担当

梅津一匡会員